



新潟県

県立病院ニュース

病院に関係する全ての人から信頼される病院を目指して

第136号 平成26年12月 病院局発行

魚沼地域医療再編に係る移行調整会議が開催されました！



[写真]左から時計回りに吉田院長（六日町病院）、布施院長（小出病院）、若月病院局長、山崎福祉保健部副部長、荒川県地域医療推進機構理事長、大平魚沼市長、井口南魚沼市長、内山院長（魚沼基幹病院）

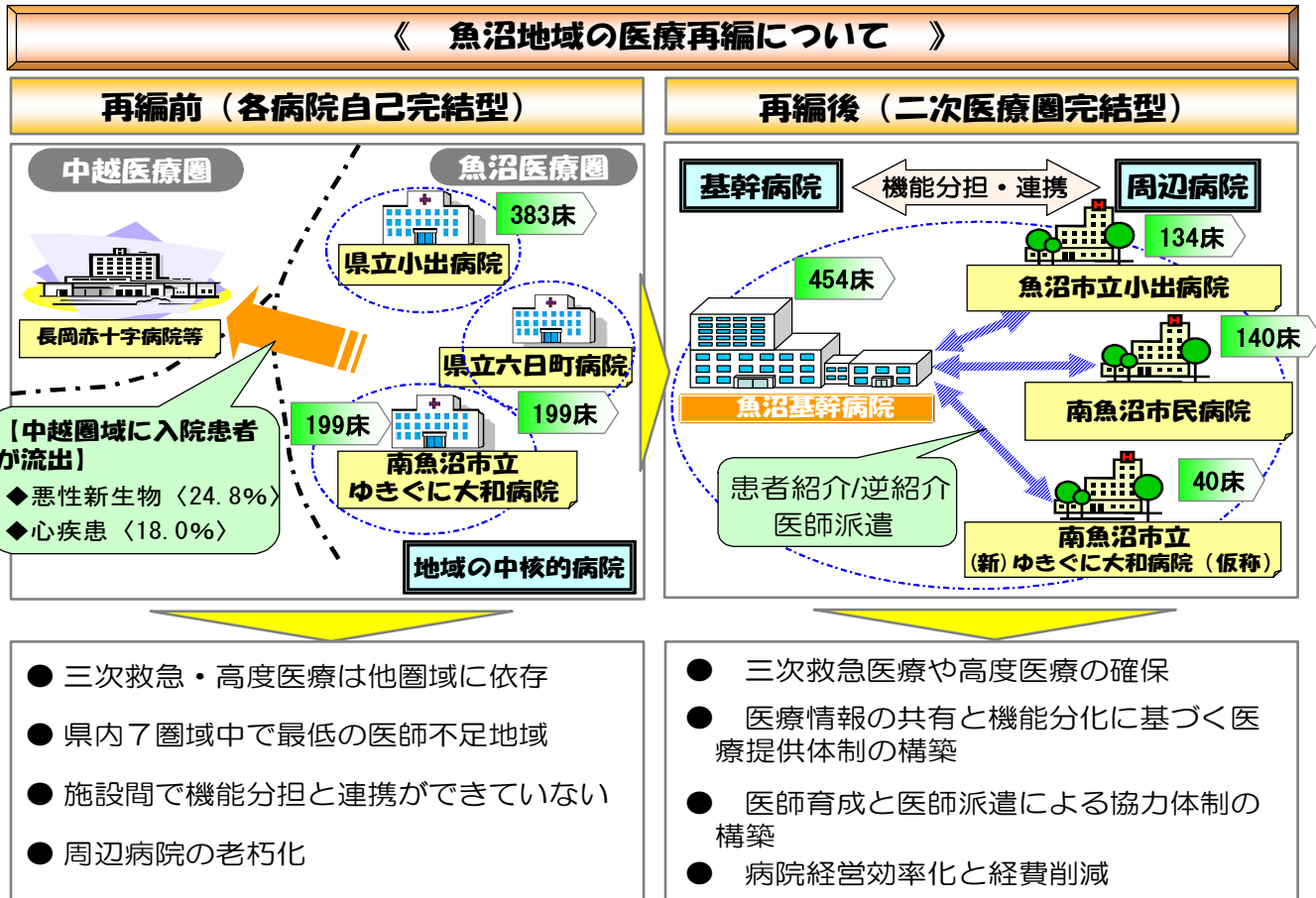
魚沼地域の医療再編に係る移行方針について確認を行うため、12月6日（土）に魚沼市長、南魚沼市長、（一財）新潟県地域医療推進機構理事長、県福祉保健部副部長、県病院局長、再編対象病院の院長が集まり、魚沼医療再編に係る移行調整会議が開催されました。

○ 魚沼地域医療再編について

三次救急・高度医療を他圏域に依存し、慢性的な医師不足が課題となっている魚沼地域の医療高度化を図るため、新潟県は、新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院を公設民営の病院として整備し、圏域内の三次救急・高度医療を提供することとしています。

また、魚沼基幹病院の整備に併せて、県立小出病院を魚沼市に、県立六日町病院を南魚沼市にそれぞれ移譲し、魚沼地域の医療再編を行うこととしています。

○ 魚沼医療再編計画



○ 主な会議内容

- 当初計画では南魚沼市が平成27年6月に南魚沼市民病院を開院する予定であったが、建設の遅れ等により開院が平成27年11月となるため、それまでの間、現県立六日町病院の建物を利用して「南魚沼市立六日町病院」を開院すること。
- 新設病院の立ち上げに向け、各種リハーサルやチーム編成など準備を進めること。
- 住民が十分な理解のもとスムーズに受診できるよう住民周知を進めていくこと。などが確認されました。

○ 移行期における各病院の許可病床数

	現在	平成27年6月～	平成27年11月～
魚沼市	県立小出病院（383床）	市立小出病院（90床）※1	
	市立堀之内病院（80床）	市立堀之内病院（50床）※2	
南魚沼市		魚沼基幹病院（454床）	
	県立六日町病院（199床）	市立六日町病院（20床）	南魚沼市民病院（140床）
	市立ゆきぐに大和病院（199床）		市立ゆきぐに大和病院（40床）

※1 市立小出病院は平成28年4月以降、134床に増床予定

※2 市立堀之内病院は平成27年4月から50床に縮小

かも福祉フェスティバルに参加しました！

～加茂病院、地域に開かれた病院へ～

9月7日（日）、加茂病院では地域医療を担う地元の病院として「かも福祉フェスティバル」に参加しました。かも福祉フェスティバルは、加茂市社会福祉協議会が中心となり、心の豊かさや生きがいを求め、地域で支え合う社会づくりを目的として毎年開催されています。

ステージイベントと各種ボランティアサークルの展示、市内通所作業所の展示即売のほか、バルーンアートなどのお楽しみコーナーを設けるなどバラエティに富んだものとなっています。加茂病院ブースでは、「健康相談コーナー」を設け、体脂肪や血圧測定、血管年齢の判定などを行い、来場者の方々の健康相談に応じるとともに、食物繊維入りゼリーやオリゴ糖シロップなどの栄養補助食品の試食コーナーを設けるなど、ご自身の健康のあり方について、気軽に、楽しみながら考えていただくというコンセプトで実施しました。

また、ステージイベントとして、竹石利之外科部長が「消化器癌の基礎知識～予防と治療～」、佐藤美津恵副看護師長（皮膚・排泄ケア認定看護師）が「めざせ快便！～腸内環境を整えることが健康のバロメーター～」と題して講演を行いました。90名近くの聴衆が興味深く講演を聞き入っており、日頃の健康管理への取組に大いに参考になったのではないかと思います。

このような住民の方々とのふれあいの中で、地域に開かれた、身近な病院として役立てたらと考えています。



[写真]講演されている竹石外科部長（加茂病院）

